



国際ロータリー会長
ジョンF.ジャーム

Nagai Rotary Club



長井ロータリークラブ



Weekly report

長井ロータリークラブ会長	高橋 勇喜知	第2800地区ガバナー	長谷川 憲治
長井ロータリークラブ幹事	齋藤 圭央	第6ブロックガバナー補佐	今 良明
パストガバナー	渡部 保太郎		
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテルTEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	会報委員	大道寺 信・大滝 徹・浅野敏明・土屋茂樹

URL: <http://www.nagai-rc.jp>

E-mail: info@nagai-rc.jp

四つのテスト 1 真実かどうか 2 みんなに公平か

3 好意と友情を深めるか 4 みんなのためになるかどうか

平成29年 2月14日(火曜日) 第2,696回

<例会報告NO.25>

【月間テーマ】 平和と紛争予防・解決

ゲスト卓話 長井市地方創生参事 泡瀬 栄人 氏

☆会長挨拶 (遠藤伴明副会長)



会長がお休みということで、代わりに挨拶をしなければならぬところですが、まずお礼を申し上げます。12月の母の葬儀の際には多数の方に参列頂き、また過分なご香料を頂きありがとうございました。御礼が遅くなり申し訳ありません。この場をお借りして御礼申し上げます。私は、今回を含めて喪主を務めるのは4回目ですが、最初の父の時は大学を卒業したすぐで、2回目は祖母でしたが、父の場合は社葬でしたし、祖母の場合は若いということでしたので、周りがやってくれたので、さほど疲れを感じませんでした。3回目は兄でしたが、東京であったので挨拶が通夜で簡単であったこともあり、さほどに感じませんでした。今回は母の葬儀ですべてをやらなければならないということで、一人を送らなければならないことは大変なことであると感じました。これから手続等をやらなければならない状況ですので、専門家の方等の人の力を借りなければならないので、その際はよろしくお願いします。今日は、ゲスト卓話を楽しみに聞いてください。

☆幹事報告 (大道寺信副幹事)

- ・酒田中央ロータリークラブ創立30周年記念式典、祝賀会の案内がきております。
- ・長井市から、チャリティーの益金を地域福祉基金への寄付に対する御礼が届いております。
- ・第12回理事会を、2月21日に開催しますので、出席お願いします。
- ・2月28日ファイヤーミーティングの出欠表を回覧しますので、多くの方の出席をお願いします。

☆委員会報告

- ・情報・IOC委員会 前田昌信委員長
- 2月5日第2回研修セミナーに行ってきました。また、2月6日RYIA小委員会に出席してきました。
- 2月9日当クラブの財団委員会を開催しました。3月31日補助金の最終申請ですので、来年度何をするかについて話し合いをしました。具体的にはこれから詰めていきます。
- ペットが2月25日開催されます。

<ご本人誕生日>

- ・塚 清一 会員 12日
- ・横澤寿彦 会員 15日

<奥様誕生日>

- ・齋藤裕之 会員 19日
- ・渡辺 亨 会員 24日
- ・高橋勇喜知会員 26日

<結婚記念日>

- ・菅 滋徳 会員 16日

<ニコニコ BOX>

- ・塚田弘一 会員
泡淵参事には長井創生にご尽力いただきありがとうございます。
- ・五十嵐順子 会員
ゲストを歓迎して

☆ゲスト卓話（泡淵 栄人 氏）



- ・今、話題の文科省から出向してきました。復興庁ができる前に東日本の被災地に4年行ってきましたが、独法を含めて8年くらい本省から離れているが、今までの親の教育を専門にしていた観点、長井市の学校教育を紹介しながら、今後20年後にどういう長井市が道を作っていくかの方向性について話をしたい。
- ・出向派遣される際に、石破前地方創生担当大臣から、今は緩やかな国難である。気づいていないので人口減少を伝えるという訓示があった。長井市は27千人の人口であるが、合計特殊出生率が1.80人では、どんどん減っていく。このままだといずれゼロになると言われている。いまから人口と言われる2.07人にしても、何十年間後に人口を17千人で平たん（維持）にできる状況になる。これを達成するにはあらゆることをしていかないといけない。
- ・今後、人口減少によりパイが縮小することから、国内だけでなく国外と取引できる「実力」「スキル」と「意欲」が、必要となる。そのためには幼少期からの教育（人づくり）が必要となる。
- ・住む場所を長井を選択し、個々の事業主として、世界を相手にビジネスができる人材に教育するための仕掛けとして、①長井のことを好きにさせる②世界と商売できる意欲とスキルを育てる③地頭を鍛える、をやっていく。
- ・長井のことを好きにさせる取り組みとして、「長井の心」子供版を徹底する。地元の農産物を使った取り組みや、伝統文化の継承等である。
- ・世界と商売できる意欲とスキルを育てること取組は、英語教育とITを使った教育を充実する。旧長井小校舎の活用、伊佐沢小で行っている英語教育を全小学校で進めること等である。
- ・特に大事なことは、子供の頃の「様々な体験」はその後の人生に影響するというアンケート結果がでており、そのことを大事にした教育をしていきたい。
- ・第3の地頭を鍛える教育は、脳を鍛える脳トレーニングが重要であり、単に英語教育だけでは地頭は良くできないの

で、早期の国語教育が大事である。読み聞かせや、古典等の音読、親子のコミュニケーションが必要である。

- ・ベースは、子どもの基本的な生活習慣、早寝早起き朝ごはんを提唱している。睡眠時間や寝る時間の深夜化等と、不登校や閉じこもり等との関係、テレビやスマホ利用と点数との関係などが解ってきている。このように睡眠とリズムと心身に与える影響や睡眠時間と脳発達の関係が解ってきており、それにどう対応するかが必要である。また、食事との関係、とりわけ朝食と脳機能との関係も解ってきており、朝食をとることの大事さも伝えていくことが必要である。
- ・まとめとして、人口減少を食い止めるために海外に出ていくこと、そのためには教育を変えていくこと、教育を変えるには、生活習慣、早寝と食事をとることを第一に、そこからスキルと意欲、能力を伸ばしていくといったことを総合的戦略で人づくりを進めていく必要がある。

☆次回例会予定

2月21日 ゲスト卓話
岩瀬 義和 氏
(株) デジコンキューブ社長

☆出席報告

2月14日 例会 報告者： 大滝徹 会員

	会員数 (免除)	出席数 (免除)	出席 率	MU 数	修正 出席数	修正 出席 率
本日	27(1)	18(1)	70. 37%			
前回 (1/31)	28(2)	20(2)	71. 43%			
前々回 (1/24)	29(3)	20(3)	68. 97%	2	22(3)	75. 86%